

超音波診断装置発注仕様書

Apliofrex CUS-AFL00/jj

納入場所 東京都神津島村 1009-1 東京都神津島村国民健康保険直営診療所

納入期限 令和7年1月31日

調達物品名及び構成内訳

超音波診断装置 (構成内訳)	一式
1. 超音波診断装置本体	1 台
2. プローブ	
2-1 コンベックスプローブ	1 本
2-2 リニアプローブ	1 本
2-3 セクタプローブ	1 本
3. 周辺機器	
3-1 白黒プリンタ	1 台

以上、搬入、据付、調整、取扱い説明などを含む。

調達物品に備えるべき技術的要件

(性能、機能に関する要件)

超音波診断装置は以下の要件を満たすこと。

1. 超音波診断装置

1-1 超音波診断装置本体は以下の要件を満たすこと。

1-1-1 超音波ビームの送受信はフルデジタル制御されていること。

1-1-2 画像表示モードはB(2D)モード法・カラードプラ法・パワードプラ法・パルスドプラ法・連続波ドプラ法が可能であること。

1-1-3 カラードプラ・パワードプラに加えて、高精細血流表示機能を備えていること。この機能による血流方向の色分けも可能であること。

1-1-4 2次高調波を利用して画像を観察できるティッシュハーモニックイメージング(THI)法において、フィルタ法・位相反転法(Pulse Subtraction 方)により描出可能であること。さらに、2つの周波数を合成して送信し、差音と高調波を位相反転法に

より描出する **Differential** 法が可能であること。

- 1-1-5 コンパウンド技術により、超音波の干渉（スペckルパタンまたはスペckルノイズ）の低減や生体組織内の境界の明瞭化および音響シャドーの低減が可能であること。
- 1-1-6 画像処理により構造物をより明瞭に表示する機能を有すること。
- 1-1-7 2D の表示輝度(**GAIN**)をフリーズ後、および保存画像でも変更調整可能であること。
- 1-1-8 **STC** は体表からの深さ方向に **8** 段以上、画像の横方向に **6** 段以上の調整が可能であり、タッチスクリーンで操作可能であること。
- 1-1-9 **GAIN** や **STC** の自動調整機能を備えており、リアルタイムに常に自動調整されること。また、パルスドプラモードではスケールとベースラインシフトの自動調整機能を備えていること。
- 1-1-10 コンベックスプローブで最大 **100** 度程度まで視野角を広げる機能を有すること。
- 1-1-11 観察モニタのサムネイルエリアには、現在の検査で収集した画像データおよび現在検査中の患者の過去検査データを表示できること。画面のサムネイル上にカーソルを合せることでプレビュー画面が表示されること。サムネイルエリアはモニタ左右どちらにも表示可能であること。
- 1-1-12 多機能な操作性を向上させるため、**10.1** インチ以上のタッチパネルを採用していること。
- 1-1-13 キーボードは引き出し式で、使用しない際はパネル下段に収納可能であること。
- 1-1-14 観察モニタは **21.5** インチ以上の取っ手付き大型液晶モニタで、**Full HD(1920×1080)**以上の解像度を有すること。
- 1-1-15 超音波ゼリーを温める機能を有すること。**2** 段階以上で温度調整が可能であること。
- 1-1-16 装置本体の大きさが、幅 **520mm** 以下、高さ **1500mm** 以下、奥行 **605mm** 以下であり、装置本体の重さは **53kg** 以下であること。

2. プローブ

- 2-1 コンベックスプローブは以下の要件を満たすこと。
 - 2-1-1 プローブの周波数帯域は **2.0～6.0MHz** の範囲を含むこと。
 - 2-1-2 視野角は **65°** 以上であること。

- 2-2 リニアプローブは以下の要件を満たすこと。
 - 2-2-1 プローブの周波数帯域は **4.5～14.0MHz** の範囲を含むこと。
 - 2-2-2 視野幅は **35mm** 以上であること。

- 2-3 セクタプローブは以下の要件を満たすこと。
 - 2-3-1 プローブの周波数帯域は **2.0～4.0MHz** の範囲を含むこと。
 - 2-3-2 視野角は **85°** 以上であること。

3. 周辺機器

3-1 白黒プリンタは以下の要件を満たすこと。

3-1-1 超音波診断装置本体に接続可能な白黒プリンタであること。

既存機器撤去・廃棄（値引額に含むこと）